

洗足会 源氏物語の会

スライドを使ったわかりやすい解説付きの原文朗読「しづの源氏語り」で古典の名作『源氏物語』に触れていただく会です



第32回 『源氏物語』の物語論

『源氏物語』は一般的には恋の物語と考えられていますが、作者は「螢巻」で光源氏の言葉を通して物語とは何なのかについて語っています。梅雨時に物語を読みふける養女「玉鬘」(亡き夕顔の娘)に彼は何を語ったのでしょうか。

世界文学史においても大変貴重と言われている千年前の文学論を、光源氏と玉鬘の物語の中の一場面を通して語ります。

主催 一般社団法人洗足会

日時 2025年6月14日(土) **14時半～16時**

場所 洗足会館集会室

会費 500円(当日受付にて)

お申し込み 03(3781)1455 木・金曜日休館
なるべく事前予約をお願い致します。

偶数月第2土曜日14時半開始予定

8月9日: **お休み**

10月11日:『源氏物語』の教育論

※変更になる場合があります

友家(ともいえ)しづ 東京女子大学および同大学院にて源氏物語を専攻。
原文の魅力を伝えることをライフワークとして12年前より都内、岡山、宇都
宮等で月数回「しづの源氏語り」を語っている。

